

小学校 3 年

調べた情報を整理し、活用しよう

吹田市立南山田小学校

教科

国語

単元名

生き物しょうかいカードをつくらう

本単元で育む学びスキルと学校図書館活用スキル

B-STEP 2, C-STEP 2
D-STEP 2, G-STEP 2

該当番号の詳細内容は
「大阪府情報活用能力
ステップシート」から確認できます。



単元でつきたい力

(教科等でつきたい力)

- ・段落相互の關係に着目しながら、考えとそれを支える理由や事例との關係などについて、叙述を基に捉えることができる。

(学校図書館等の活用でつきたい力)

- ・調べたいことを決めて、学校図書から調べる力
- ・調べた情報を分類する力

単元における学習の展開（全 8 時間）（学校図書館等を活用した時間に☆印）

第 1 次 (2 時間)	・単元でつきたい力を確認する。 ・言語活動のゴールを確認する。 ・学習計画を立てる。 ・説明文「自然のかくし絵」（東京書籍 3 年）の文章を形式段落に分ける。 ・「自然のかくし絵」の文章を、始め、中、終わりに分ける。
第 2 次 (3 時間)	・「自然のかくし絵」の 1 つめの問いと答えの關係について捉える。 ・「自然のかくし絵」の 2 つめの問いと答えの關係について捉える。 ・段落相互の關係を段落關係図にまとめる。
第 3 次 (3 時間)	・生き物しょうかいカードで、紹介したい生き物を決めて調べる。(本時) (☆) ・説明文で学習した構成などをもとに調べたことから、生き物しょうかいカードを書く。(☆) ・生き物しょうかいカードを交流する。

本時のねらい

- ・生き物しょうかいカードを書くにあたって、必要な情報を見つける力を養う。
- ・Y チャートを活用し、必要な情報を分類する力を養う。

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	学校図書館活用及び言語能力の育成のためのポイント・指導上の留意点
導入 (15 分)	1. 生き物しょうかいカードを書くために必要なこと（調べる観点）を再確認する。 ・指導者が示した言語活動のモデルから、再確認する。	・単元の導入で、言語活動のモデルに何が書かれているのか確認しているため、本時では簡単に再確認する。
展開 (25 分)	2. 調べたことを Y チャートにまとめる。 ・Y チャートの使い方を知る。 ・確認した観点について、学校図書を活用して調べる。 	・Y チャートは初めて使うツールであるため、使う目的、使い方を説明する。 ・「読書活動支援者、SE 担当、学級担任で選書した学校図書から、調べたい生き物の「体の特徴」「かかれる場所」「どうしてかかれるのか」について、書かれた図書の本を選ぶよう助言する。」 ・「調べていること」がずれている児童には助言する。
まとめ (5 分)	3. 本時の学習を振り返る。 ・決めた観点に沿って、調べることができたか、Y チャートを読んで振り返る。	

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・言語活動のモデル文を学級担任が作成し、何を書かせるのか、どのような構成かを明確にしておく。
→つきたい力に基づいて、言語活動を決めている。
- ・言語活動のモデル文に沿って、読書活動支援者と SE 担当と学級担任が連携して選書する。
→事前に図鑑を確認して、言語活動にあった内容かどうかを選書におけるポイントとしている。
- ・思考ツールの 1 つである Y チャートを使うことで、調べたことを観点ごとにわかりやすくまとめることができる。
→調べた複数の情報を分類する力を養うことをねらいとしている。



自分が知りたい情報が書いてある図鑑から Y チャートを活用し、情報を整理する場面